

**令和 8 年度 都市公園管理事業 自動草刈ロボット購入
に係る公募型プロポーザル実施要領**

1. 目的

市が管理する公園の維持管理の省力化及び景観維持を目的に自動草刈ロボットを購入する。

本要領は、自動草刈ロボットの購入先に最も適した契約の相手方となる候補者（以下「候補者」という。）の選定にあたり、公募型プロポーザルの実施方法等、必要な事項を定める。

2. 概要

- (1) 件名 令和 8 年度 都市公園管理事業 自動草刈ロボット購入
- (2) 内容 別紙 1 「令和 8 年度 都市公園管理事業 自動草刈ロボット購入仕様書」
(以下「仕様書」という。) のとおり
- (3) 履行期間 契約締結日から令和 9 年 2 月 26 日までとする。
- (4) 納入場所 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町 1355 番地 1
伊万里市役所 建設農林水産部 施設整備課

3. 見積限度額

- (1) 令和 8 年度 都市公園管理事業 自動草刈ロボット購入
1,982,000 円（取引に係る消費税及び地方消費税を含む）とする。
- ※見積限度額は、契約予定金額を示すものではなく、機器等の規模を示すものである。なお、見積限度額を超えたものは失格とする。
- ※自動草刈ロボット購入及びロボットの運用に必要なその他の経費を併せた総合的な経費を審査する。

4. 契約方法

公募型プロポーザル方式による随意契約とする。

5. 参加資格要件

本業務のプロポーザルに参加する提案者（以下「提案者」という。）は、本業務を遂行するに十分な能力を有する者とし、次に掲げる条件を全て満たしている者とする。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定により、一般競争入札への参加を排除されていない者であること。
- (2) 参加申込書の提出締切日において、伊万里市建設工事等請負契約に係る指名停止等措置要領（平成 16 年告示第 81 号）に基づく指名停止を受けている者でないこと。
- (3) 参加申込書の提出締切日において、国税及び地方税の滞納の無い者であること。

- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てがなされている者（会社更生法にあっては更生手続開始の決定、民事再生法にあっては再生手続の決定を受けている者を除く。）でないこと。
- (5) 次のアからキまでのいずれにも該当しない者であること
- ア 自己又は自社の役員等が伊万里市暴力団排除条例（平成24年条例第1号）第2条第4号に規定する暴力団等である者。
- イ 役員等（提案者が個人である場合にはその者を、提案者が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表をいう。以下同じ。）が暴力団による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下この号において「暴力団員」という。）である者。
- ウ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団（以下この号において「暴力団」という。）又は暴力団員が経営に実質的に関与している者。
- エ 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている者。
- オ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者。
- カ 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者。
- キ 再委託等の契約に当たり、その相手方がアからカまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結している者。
- (6) 提案者は、次の条件を満たすこと。
- ア 登記簿上の本店が日本国内にある法人であること。

6. 日程

日程については、下表のとおりとする。

公募開始	令和8年 8月31日（月）
質疑受付締切	令和8年 9月10日（木）
質疑に対する回答	令和8年 9月14日（月）※随時回答も実施する
参加申込書等提出締切	令和8年 9月18日（金）
参加資格審査（書類審査）	令和8年 9月 下旬（予定）
参加資格確認結果通知	令和8年10月 6日（火）までに通知
提案書受付締切	令和8年10月 9日（金）
プロポーザル審査	令和8年10月16日（金）（予定）
審査結果通知	プレゼンテーション実施後10日以内
契約締結	令和8年10月23日（金）（予定）

7. 質疑・回答について

質問等がある場合は、次により行うものとする。

(1) 「質問書（様式第7号）」の提出

ア 受付期限：令和8年9月10日（木）午後5時15分まで

イ 受付方法：①指定様式による紙媒体で持参

②指定様式による紙媒体でFAX

③電子メール（記載内容が同様であれば指定様式でなくても可）

表題は「自動草刈ロボット購入プロポーザル質問事項」とすること。

ウ 受付場所：17に示す場所

※本プロポーザルに関する質問は、参加申込書及び提案書等の作成に係る質問に限るものとし、評価及び審査に係る質問は一切受け付けない。

(2) 回答方法

質疑に対する回答については、とりまとめた上で、令和8年9月14日（月）午後1時より、伊万里市のホームページ上で発表する。ただし、参加申込や質問内容によって期限前であっても適宜回答するものとする。

8. 参加申込手続きについて

提案者は、参加申込書（様式第1号）とともに次に掲げる書類を提出すること。なお、期限までに参加申込書の提出のない者からの提案は受け付けないものとする。

(1) 参加申込書の提出方法

ア 提出期限：令和8年9月18日（金）午後5時15分まで

※受付時間は、伊万里市の休日を定める条例（以下、「休日条例」という。）第1条第1項に規定する本市の休日を除く、午前8時30分から午後5時15分までとする。

イ 提出場所：17に示す場所。

ウ 提出方法：持参又は郵送（提出期限必着）

※ 持参の場合は参加申込書に受付印を押印した写しを交付する。郵送の場合は参加申込書に受付印を押印した写しを送付するため、返信用封筒（返信先の記入及び110円切手の貼付）を同封すること。なお、郵送料金不足分がある場合は受取人の負担とする。

(2) 提出書類

①参加申込書（様式第1号）

②会社概要説明書（様式第2号）

③納入実績調書（様式第3号）

④誓約書（様式第5号）

- ⑤使用印鑑届兼委任状
- ⑥印鑑証明書
- ⑦登記事項証明書
- ⑧国税及び地方税の納税証明書
- ⑨直前の期末における決算報告書

※提出部数は1部とする。

※本市の入札参加資格を有している場合は、④から⑨を省略することができる。

(3) 参加を辞退する場合

参加申込書提出者がその後参加を辞退する場合は、プロポーザル審査書類受付期間終了日（10月9日）前までに参加辞退届（様式第6号）を17に示す場所まで持参又は郵送すること。また、これ以後の辞退については、17に示す場所への電話連絡のうえ、同様の手続きをすること。なお、辞退に対しペナルティを課すことは無い。

9. 提案書等の提出方法

提案資料の様式はA4判の任意様式とする。

提出する提案書等は各参加者1提案とし、仕様書等の内容を含んだ提案書等を提出すること。

ア 提出期間

令和8年9月15日（火）～令和8年10月9日（金）

※受付時間は、休日条例第1条第1項に規定する本市の休日を除く、午前8時30分から午後5時15分とする。

イ 提出場所 17に示す場所。

ウ 提出方法 持参又は郵送（提出期限必須）

エ 提出物 提案書等一式 ※内容及び作成方法については後述「提案書等作成方法」参照

オ 提出部数 6部（正本1部、副本5部）

10. 提案書等作成方法

提出書類については、次のとおりとする。

(1) 提出書類

提出書類	様式等	摘要
提案書	任意様式	①提案書の内容参照
費用見積書	任意様式	②費用見積書参照、提案書に合冊しないこと

①提案書の内容

ア 提案内容（仕様書の3の要求する性能・機能の各々について、提案機械の性能・機

能を明記する。そのほか要求以上の性能・機能、安全対策、盗難対策、ランニングコストなど)

エ 納品、研修スケジュール

②費用見積書

品名、項目ごとに見積内容、金額が分かるものとし、消費税及び地方消費税を含む額を提示すること。

(2) 作成における留意点

ア 提案書は1者につき1提案とする。

(3) 作成方法

ア A4判 ※A3折込可

イ 片面印刷

ウ 要ページ番号(下記中央)

エ 長辺綴じ(ホチキス1か所) ※2ページの場合

オ 提案書と他の書類は合冊しない

1 1. 審査方法

本業務に係る提案書等の審査、評価及び候補者選定は、令和8年度 都市公園管理事業自動草刈ロボット購入プロポーザル審査委員会(以下「審査委員会」という。)において、下記の要領で行う。

(1) 参加資格審査(書類審査を含む)

提出された申込書等により参加資格を審査し、審査結果については書面にて通知する。
なお、応募者が5社以上となる場合は、納入実績等を審査し5社程度を選定する。

(2) プロポーザル審査(プレゼンテーション)

ア 日時等については、該当者に別途通知する。

イ プレゼンテーションを行う順番は、事務局において決定する。

ウ プレゼンテーションでは、業者名、出席者名を最初に述べ、提出された提案者の提案内容について20分以内でプレゼンテーションすること。続いて、審査員から質問を行うので、明確に回答すること。ヒアリングの時間は10分以内とする。ただし、審査委員長が必要と認めた場合はその限りではない。

エ プレゼンテーションは提出された書類のみで行うものとし、プレゼンテーション時の資料の追加配布は認めない。また、プレゼンテーション用ソフトの使用は可能だが、提案書に示す以外の内容は認めない。

オ 説明機材として、プレゼンテーション用のスクリーン及びプロジェクター(若しくは電子モニター)は事務局で準備を行う。その他必要な関係機材があれば各自提案者が用意すること。

カ 1提案者あたりのプレゼンテーション参加者は3名までとする。

キ プレゼンテーションは、一般非公開とする。

ク 特別な理由が無く、プレゼンテーション開始時間に遅れた場合は、失格とする。

(3) 評価採点方法

審査委員会では、審査委員が評価基準項目ごとに評価し、配点に応じて得られた点数を合計し、最高点を得た提案者を候補者として選定する。なお、最高点を取得した提案者が複数ある場合は、見積金額が最も低い提案者を候補者とする。

また、最高点に続く得点を得た者を、候補者次点者とし、候補者と合意に至らなかった場合や、候補者に不正等が発覚した場合は、候補者次点者を候補者に繰り上げ交渉するものとする。

(4) 審査基準

評価項目は別紙2「プロポーザル審査要領」を参照すること。

1 2. 審査結果

審査結果については、下記のとおりとする。

- (1) 通知先 : 全提案者
- (2) 通知方法 : 書面にて
- (3) 通知内容 : 本業務の候補者であるか否か
- (4) 通知時期 : プレゼンテーション実施後10日以内
- (5) 選定結果について異議申し立ては、一切受け付けない

1 3. 提出書類の取扱

本業務のプロポーザルに係る提出書類については、下記のとおり取扱うものとする。

- (1) 提出された全ての書類は返却しない。
- (2) 提出書類の提出後における差し替え及び削除、また伊万里市が必要と認め資料の追加を求めた場合を除く追加等は一切認めない。
- (3) 提出書類を、提出した者に無断でこのプロポーザルに係る審査以外には利用しない。

1 4. 契約等に関する事項

選定された提案書及び費用見積書により契約交渉を行うものとし、選定された提案に沿って実施するが、この交渉において提案内容を変更する場合がある。また、契約金額は候補者と伊万里市との間で、業務の仕様等の調整を行い、業務内容について見積金額を基本として確定する。

1 5. 情報公開及び提供

- (1) 提出書類について、伊万里市情報公開条例（平成11年市条例第16号）の規定に基づき、その内容の全部又は一部を公開する場合がある。

なお、本業務の候補者特定前において、決定に影響が出る恐れがある情報については、候補者決定後の開示とする。

- (2) 本業務の候補者選定後に実施する見積合せについては、結果を「伊万里市入札及び契約の過程並びに契約の内容に関する事項の公表要領」に基づき公表する。

16. その他

(1) 費用負担

提案書等の作成、提出、プレゼンテーション等に要する費用は、その一切を提案者の負担とする。

(2) 言語及び通貨単位

手続きにおいて使用する言語及び通貨単位は、日本語及び日本国通貨に限る。

(3) 参加辞退の取扱い

参加申込書の提出後に応募の辞退を行う場合は、書面（様式第6号）により申し出ることとし、応募辞退後は、いかなる理由があっても再応募は認めない。

(4) 著作権等の権利

企画提案書等の著作権は、当該企画提案書等を作成した者に帰属するものとする。ただし、契約の相手方に決定した者が作成した企画提案書等の書類については、伊万里市が必要と認める場合には、その一部又は全部を無償で使用（複製、転記又は転写）することができるものとする。

なお、伊万里市が契約の相手方の作成した企画提案書等の書類を無償で利用しようとする場合においては、予め契約の相手方に通知し承諾を得ることとする。

(5) 異議申立て

参加表明者は、本業務におけるプロポーザル実施後、不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。

(6) 失格条項

参加表明者が次の事項のいずれかに該当した場合には、審査委員会において審査の上、その者を失格とする。

ア 提出書類の提出方法、提出先、提出期限に適合しない場合

イ 提出書類に記載すべき事項の全部又は一部が記載されていない場合

ウ 提出書類に記載すべき事項以外の内容が記載されている場合

エ 提出書類に虚偽の記載があった場合

オ 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当した場合

カ 選定結果に影響を与えるような不誠実な行為を、直接的又は間接的に行った場合

キ 参加申込書の提出期限以降において、伊万里市建設工事等請負契約に係る指名停止等措置要領に基づく指名停止の措置を受けた場合

ク 本要領に違反又は逸脱した場合

- ケ ヒアリング又はプレゼンテーションにおいて、正当な理由なく欠席した場合
- コ 費用見積書の金額が、見積限度額を超過した場合
- サ 業務実績が参加要件を満たすものでない場合

(7) 契約保証金

ア 契約締結後の際に、契約金額の100分の10以上に相当する金額又は5,000円のいずれか高い金額を納付すること。

イ 契約保証金の納付に代えて、伊万里市契約規則第31条の規定に基づき、担保を供することができる。

ウ 次の号に掲げる場合は、契約保証金の納付を免除する。

(ア) 市を被保険者とする履行保証保険契約を締結したとき。

(イ) 契約日前2年間に於いて当該締結予定の契約と種類及び規模をほぼ同じくする契約を国（公社、公団を含む。）又は地方公共団体と3回以上締結し、これらをすべて誠実に履行しており、かつ、当該締結予定の契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。

(ウ) 随意契約を締結する場合において、契約の性質又は目的からみて契約保証金を納めさせることが適当でないと認められ、かつ、契約の相手方が契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき。

17. 問い合わせ、提出先

〒848-8501

伊万里市立花町1355番地1

伊万里市役所 建設農林水産部 施設整備課（2階）

TEL：0955-23-2139（直通）

FAX：0955-22-4562

電子メール：shisetsu@city.imari.lg.jp